

カード・ダイアローグ

カードで話をする / 話をカードにする



カードで話をする

考える

15分程度

書く

読書会や鑑賞会

気になったところを「引用カード」に、思ったことを「考えカード」に書きます。

会議や話の会

テーマについて考えたことを「考えカード」に、参考文献などからの引用があれば「引用カード」に書きます。

5枚程度書き出すのがオススメです。

選ぶ

カードを3枚程度選び出し、話したい順番を決めます。

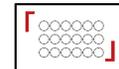


話をする

30分 - 40分 x 3周

言語化する

カードを1枚選び、読み上げます。何が気になったのか思ったことを話します。



話す - 聞く

1人1枚ずつ話し、他の人がコメントをすることを繰り返します。

話をカードにする

引用する

話をしたり、聞いたりする中で思ったことがあれば、それも“引用カード”や“考えカード”に書きます。

視覚化する

話をした順にカードを並べていき、各自新しく書いたカードもを追加していきます。

ふりかえる

15分程度

想起する

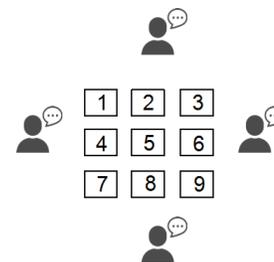
並んだカードを見直し、皆で話したことを最初から思い出します。“トピックカード”で話の流れを整理しましょう。

話す - 聞く

気になるカードがあれば、とりあげながら更に話を深めましょう。

再利用する

後日、カードから想起した話をもう一度続けたり深めたりしていきましょう。



「カードで話をする」「話をカードにする」は、セットで使うだけではなくて、話は普通にしろけれど、記録だけをカードでとる、という使い方ができます。

初めて会う人同士で話をする、みんなのスキルや背景がバラバラという場合は「カードで話をする」+「話をカードにする」ある程度いろいろなことが共有されていて、カードを使って話をするのがまどろっこしい、スピードが落ちる、というような

場合は「話をカードにする」だけを使ってもらっても視覚化・記録・ふりかえりが可能になります。

準備する

人数

3人から5人

カード

引用カード 1人20枚程度

考えカード 1人10枚程度

トピックカード 5枚程度

本を使う場合、事前に気になるところに付箋を貼ったり線を引いたりしてください。